海老名市立海老名小学校 学校運営協議会 議事録
(令和6年度 第1回)

- 1 日時 令和6年5月27日(月) 10:00
- 2 場所 海老名小学校 校長室
- 3 出席委員 小田島恵子委員、赤塚 誠委員、三部 昭一委員、生駒 晶委員、
奥泉 憲校長、楠 祐子教頭、風間 大輔総括教諭

4 会議の内容

(1) 学校長挨拶

(2) 自己紹介

(3) 令和6年度学校運営について

① 本校のインクルーシブ教育の方向性

奥泉校長 令和6年度グランドデザインの重点項目の一つ、「支援教育体制の充実」について、インクルーシブ教育を推進していくにあたり、関係諸教室の学習活動の様子を見学していただきたい。

(校内見学)

- ・ニコニコルーム…補助指導員による学習指導の様子を見学
- ・国際教室…外国につながる児童への支援の様子を見学
- ・ひだまり教室…別室登校支援が必要なお子さんのための教室を見学
- ・つばさ教室…通級指導(そだち)教室の様子を見学

奥泉校長 支えている教職員がたくさんいることがありがたい。他にも支援級(ひばり級)には、介助員さんがいらっしゃる。

赤塚委員 今は、手厚くサポートされていると感じる。今後、進学して、こういった支援がなくなった時が心配。どこかで自立させる必要も感じる。

小田島委員 ひだまり(別室登校支援)教室の在り方が気になる。本当に必要な子にとって、大切な場所。一方、家庭で保護者と一緒に過ごす時間と同様の時間を過ごす子もいる。何かしらの形で背中を押してあげられればいいのだが。また、ひだまり教室に通う理由として適切ではない子もいるのではないか。

赤塚委員 入級のためには審査等あるのか？

- 奥泉校長 保護者との面談や相談の上、通っている。
- 三部委員 国際級、つばさ教室の入級については？
- 奥泉校長 市を通す形。ひだまり教室については、主に学校が環境を整えている。県費と市費の先生方いらっしゃるが、市費の先生方は予算によっては、配置できないこともある。今後も予算要望をしていく。
- 三部委員 保護者は学校の先生方と共に悩みながら子育てにあたっていくもの。保護者の関わり方が非常に難しい。
- 奥泉校長 保護者におかれても、家庭の環境は様々。子どもの様子に応じて生活環境を変えなければならない保護者も大変。
- 三部委員 保護者の仕事、生活様式が変わってきている。
- 奥泉校長 また、自分の子と向き合い過ぎて悩んでしまう方もいらっしゃる。
- 楠 教 頭 ひだまり教室に来ている保護者のフォローも必要。保護者の気持ち安定しないと、子どもにも影響する。場合によってはカウンセラーさんにお力添えいただくこともある。
- 奥泉校長 「学級担任としてどこまで関わればよいか」ということも見極めなければならない。夜遅くになって担任が家庭訪問するケースもある。今後も、本校の特色に沿った形で取り組んでいきたい。

② 今後の PTA 活動の在り方について（風間より説明）

- OPTA 加入にあたり、現状の半強制的で自動的な加入方法を改め、PTA が学校とは別の任意団体であり、その加入にあたっては保護者の意思を確認していかなければならない。
- 本校においても、令和7年度へ向け「PTA の在り方検討委員会」を発足させ検討を進めてきた。
- 令和7年度、常置委員会は廃止の方向性。（一部本部の係として継続）
- 令和7年度、PTA 加入意思確認に伴い、登校班の扱いについて説明。
- 来月、全保護者に令和7年度 PTA 活動についての方向性を周知する予定。
- その後、ご質問、ご意見をいただき9月の臨時総会にて令和7年度の方向性を決定する予定。

※説明動画を視聴していただく

- 赤塚委員 PTA 非加入にも関わらず、登校班登校を希望する方に対し実費いただく場合の金額は？
- 風間総括教諭 令和5年度の決算額から、登校班運営に関わる部分に該当部分の金額は概算で割り出すことはできる。

- 赤塚委員 学校として、自由登校は受け入れがたいのでは？学校として登校班登校をお願いする形でどうか。
- 風間総括教諭 現在、PTA の在り方検討委員会では、PTA 非加入にも関わらず、登校班登校を希望する方に対し、「集金しない」という案も浮上している。
- 小田島委員 それはなぜか？
- 風間総括教諭 PTA は全ての児童のためにという理念があり、そのため、他地域では記念品等の配付について PTA 加入、非加入の区別なく配付する動きになっている。登校班だけ、PTA 加入、非加入を区別して集金するのはいかがか？というご意見がある。
- 小田島委員 PTA に入らない方へのデメリットがない。
- 生駒委員 PTA 非加入にも関わらず、登校班登校を希望する方に対して、住所などの情報はどのように集めるのか？
- 風間総括教諭 個別にいただくことになる。
- 赤塚委員 個人的な考えではあるが、登校班の経費として別枠で入学時に徴収してもよいのではないか。
- 三部委員 PTA 会費が月額 250 円（年額 3000 円）で高額という理由で PTA に入りたくないというわけではなさそう。また、登校班の児童の列に車が突っ込んでしまって大きな事故になることもニュースになっている。登校班だから安全というわけではないのなら、自由登校でもよいと思う。下校時は各自下校している。本当に登校時の事故が多いのか、調べてみてもよいのでは。
- 生駒委員 通学、通勤の時間帯と重なるので危ない。
- 三部委員 登校班の方がかえって邪魔になることもある。特に中央 1 丁目は歩道が狭い。
- 生駒委員 集団で登校するから危ないこともあるが、集団で登校するからこそ、その時間帯に気を付けることができる…とも考えられる。
- 赤塚委員 遅刻しそうな子は走ってしまいそう。
- 奥泉校長 市内他校でも登校班について様々な対応をしている。登校班と自由登校を併用している学校もあれば、次年度の自由登校化に向けて試行する学校もあると聞いている。
- 三部委員 将来的に自由登校、登校班登校のどちらに落ち着くか不透明だが、次年度、現時点での一定の方向性を示せばよいのではないか。
- 生駒委員 登下校については家庭の責任ではあるが、万が一の時には「学校は関わりません」というわけにはいかない。
- 奥泉校長 市内で自由登校をしている学校の地域では、立哨に立つことのできない保護者から地域の方への依頼がある。地域の方との関

り、連携が必要。

赤塚委員 もし、登校班の運営にかかわる部分について別組織を立ち上げるとなった場合、どのような方が関わるか。

風間総括教諭 今までの地区長、副地区長様が担うと想定される。また、その方々を取りまとめる方が必要になってくると思う。

小田島委員 他校では学校応援団が関わっている。人選によっては、負担が偏ってしまう。また、マンションの皆さんの方が、トラブルが少ないイメージがある。地区長さんの負担が大きく、役員さんへのフォローが必要に感じる。高学年になると、地区長等の役割がまわってくるので、役割を避けるためにPTAに所属しないということも出てきそう。これまでは、最高学年になったら覚悟していたような形だが…。

三部委員 マンションの多い中央一丁目あたりは登校班が必要だと感じるが、戸建ての多い地区はいかがだろうか。

生駒委員 不審者対応のことを考えても、登校班の方がよいのでは。

奥泉校長 丁寧に進めていくことが大切。これまでも関係各所と情報共有しながら、進めてきた。今後もこの形で進めていきたい。